

矢部高校野球部に支援の輪が届く

8月30日、矢部高校野球部に熊本地震復旧応援事業の一環として、29人乗りマイクロバスが寄贈されました。寄贈したのは、ライオンズクラブのボランティアグループwhat'sで、御船ライオンズクラブと矢部ライオンズクラブの仲介を経て届きました。今回寄贈されたマイクロバスは、元は長崎県のサッカークラブが所有していたもので、ライオンズクラブだけではなく本町出身者や後援会の方々のご縁により矢部高校野球部まで届きました。御船ライオンズクラブの秋田会長は「このバスを練習や試合に大いに活用し、成果を残してほしい」と生徒たちへエールを送り、野球部キャプテンの井手君(2年)が「バスの掃除を自分たちで行い、長く活用できるようにしたい。少しでも結果が残せるよう頑張っていきたい」とお礼の言葉を述べました。



第13回 町長旗争奪 ナイターバレーボール大会

7月24日から27日にかけて第13回町長旗争奪ナイターバレーボール大会が行われました。見事優勝したのは「下名連石」、準優勝は「御所B」でした。



優勝した下名連石

香川県善通寺市より 励ましの歌声が届く♪

8月7日、香川県善通寺市の「善通寺少年少女合唱団」による熊本地震復興慰問コンサートが役場本庁舎で行われました。合唱団は22名からなり、今回は小学3年生から高校3年生の16名が山都町へ歌声を届けに来てくれました。この日はちょうど台風5号が九州と四国に最接近しており、四国内のJRの運休が決まっていたため、バスで朝5時の出発だったそうです。ハードスケジュールによる疲れを感じさせない透きとおった歌声と振り付けで、7曲披露してくれました。



90年間見守り続けて・・・

役場本庁舎正面玄関に向かって右側に、浜町水道町界隈に抜ける道があります。その道の石垣の上に、今年もきれいに百日紅(さるすべり)の花が咲きました。この百日紅の木は昭和元年に用水路整備記念として植樹されたとのこと。90年間ずっとこの場所から町のうつり変わりと、八朔祭を見守ってきました。開花時期は名前の漢字表記で表されたように長く、7月頃から咲き始め、八朔祭で町内外のカメラマンたちに、その咲き誇る姿を撮られたのち、花の時期を終えるそうです。



陸上で蘇陽勢大活躍!!

蘇陽中学校陸上競技部が8月7日宮崎市KIRISHIMAハイビスカス陸上競技場で行われた第39回九州中学校陸上競技大会の「共通男子4×100mリレー」で6位入賞の報告と、「T&F蘇陽」に所属する興柁優哉くん(蘇陽小)が8月19日神奈川県横浜市日産スタジアムで開催される日清カップ全国大会「6年生100m」への大会出場を報告を町長と教育長へ行いました。蘇陽中学校陸上競技部キャプテンの春木寿彦君は、「0.03秒差で全国大会への出場を逃した悔しい思いをバネに、今大会では6位という成績を残せた。これからは悔しい思いをしないよう毎日の練習を頑張りたい」と、興柁優哉君は、「日清カップ全国大会では決勝に残れるよう12秒台で走りたい」とそれぞれ力強く挨拶を行いました。

共通男子4×100mR タイム44秒92

監督 二子石信太郎

第1走 春木寿彦(3年生) 第2走 藤原裕弥(3年生)

第3走 興柁駿哉(3年生) 第4走 春木宏亮(1年生)

選手 市村翼(1年生)

選手 杉山丈一郎(1年生)



何ができるかな、地球温暖化対策

8月4日、御岳小学校放課後児童クラブで、熊本県環境センターの平尾指導員による「動く環境教室」が開催されました。地球温暖化による影響で自然環境や動物、そして人間に変化が出てきていることについて、色んな写真を使った説明がありました。

児童たちが自ら環境に優しい行動をとるために、買い物にはエコバックを持っていく、詰め替え用品を買う、ゴミの分別を徹底するなど、具体的な解決策を学びました。

また、紫外線(UV)に反応して色が変わるビーズを使ってストラップ作りをしました。オゾン層の破壊を招く原因や、有害な紫外線がもたらす影響などを学習しながら、それぞれ思い思いの形のストラップを作りました。早速、太陽の光に当たると「あっ、青に変わった!」「日陰より、日なたのほうが色が濃くなった。」と興奮していました。

鳥がゴミを餌だと間違えて食べ死んでしまった写真や、オゾン層破壊により白内障になった犬の写真など、中には目を背けたくなるものもありましたが、児童たちは真剣な表情で話を聞いていました。

矢部高校応援町民会議が開催されました!

7月24日に平成29年度第1回矢部高校応援町民会議が開催されました。

議事では、矢部高校応援組の経過の報告を行った後、本年度の取り組み及びスケジュールについて事務局から説明を行い、その後意見交換が行われました。

意見交換では、山都塾へより多くの生徒が参加出来るようなスケジュールや内容についての提案や、町外からの入学者を増やすために情報発信の強化、受入れ体制の整備など、矢部高校への入学者増に向けた取組について活発な意見が出されました。

町民会議は、本年度3回を予定し、矢部高校応援事業内容等について検討を行っていきます。

